

菅屋のりつりかわり

市制施行50周年記念写真集



市旗



この市章は、大正11年3月31日に懸賞募集によって制定された村章をそのまま引き継いだものです。その由来は「精道村は、山を負い海に臨む風光明媚の地にして、芦屋・打出・三条・津知の旧4カ村から成り、円満、平和にして隆々として発展の勢あり、即ち山、海、四、円平、旭を図示す」とされています。

発刊のことば

昭和15年11月10日、精道村は村制からただちに市制をひき、芦屋市が誕生しました。

以来50年、いま芦屋市は21世紀に向けて「国際文化住宅都市『エレガント芦屋』」の発展を目指し、まちづくりを進めています。

精道村の発展は交通機関の発達、とりわけ鉄道の開通によって促進され、早くも大正年間から生活環境の整備が行われ、今日の「文化住宅都市」の基盤が形成されてきました。

昭和13年に施行を予定した市制が、阪神大洪水のため2年間遅れることになりましたが、この被災を契機として、新たな都市施設の充実を図ったこと、戦後いち早く国際文化住宅都市の途を選択した市民・関係各位のご努力と先見の明に心から敬意を表するものであります。

市制施行50周年を記念して、本写真集を全世帯にお届けしましたが、温故知新の格言のように、現在の市民であるわたくしたちが過去を振り返り英知と情熱を結集して、よりすばらしい芦屋を次代に引き継いでいくことを願っての企画でございます。

市制施行50周年の佳き日にあたり、住む人すべてが住み続けたいと思っただけのまちづくりに向けて、心新たにしています。

今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、編集にあたり貴重な資料のご提供やご助言をいただきました各位に心から厚くお礼を申し上げます。

平成2年11月10日

芦屋市長 **山村 康六**



芦屋市全景



芦屋
今むかし

芦屋公園 (芦屋遊園)



現在



大正時代



大正末期

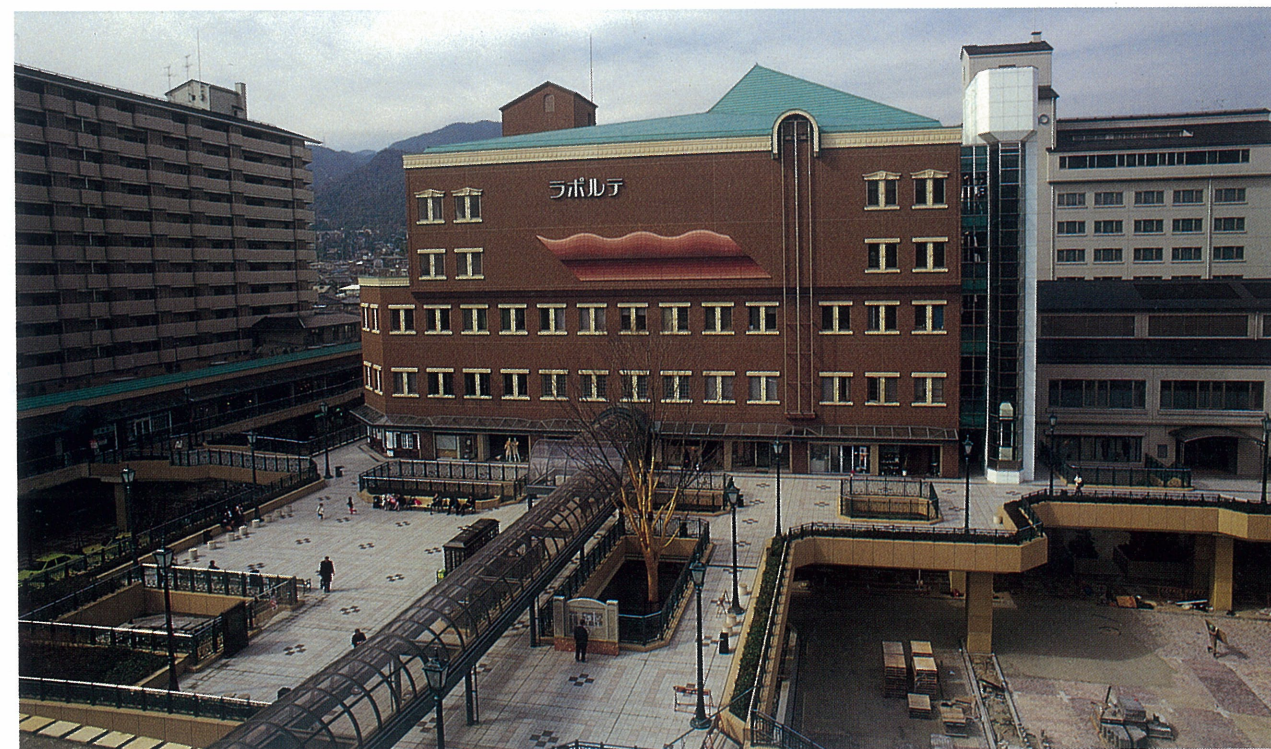
芦屋
今むかし 国鉄芦屋駅



昭和40年代はじめの国鉄芦屋駅前



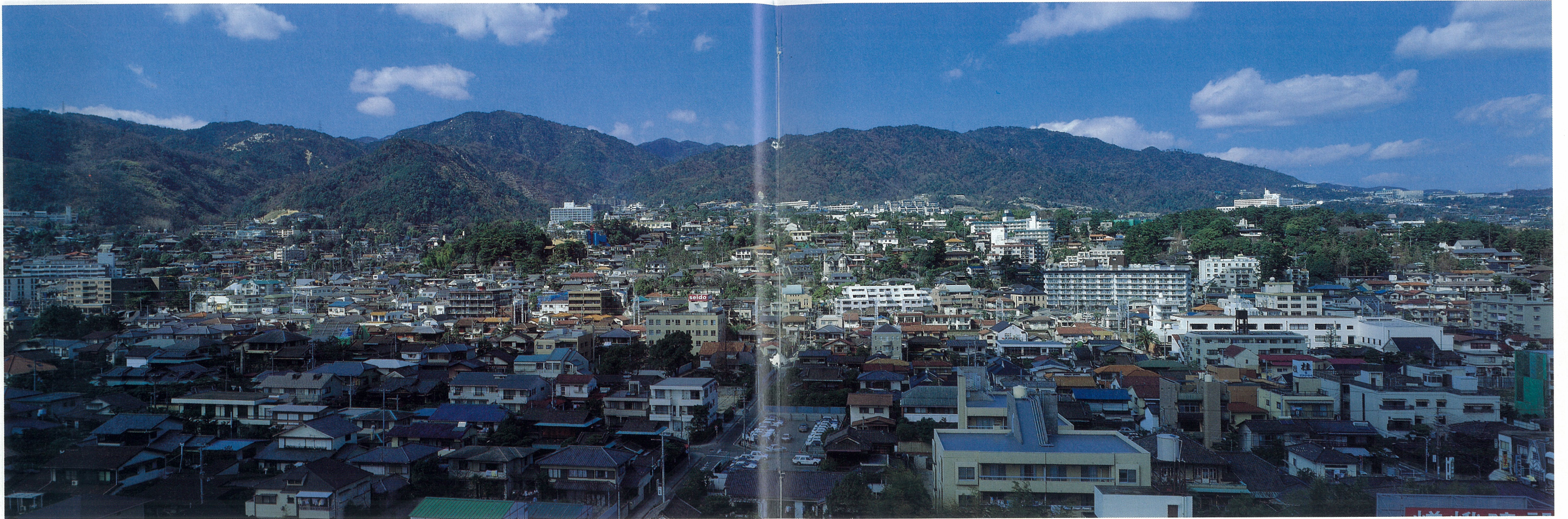
国鉄芦屋駅 昭和45年 駅前広場整備完成



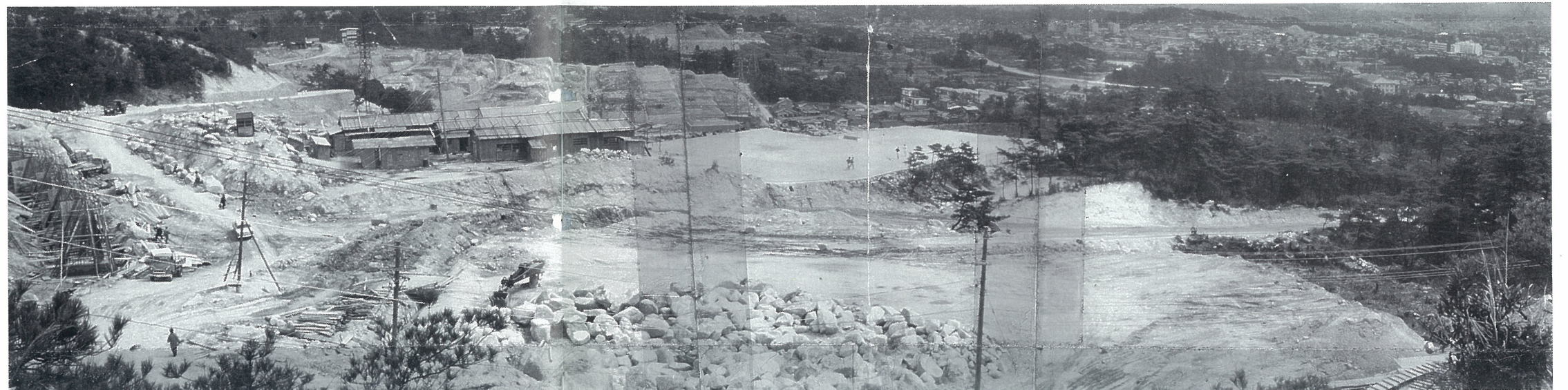
国鉄芦屋駅前再開発「ラポルテ」 昭和62年3月

芦屋
今むかし

山麓地区



現在の山麓地区



昭和30年3月認可を受け、着手された北部土地区画整理事業

芦屋
今むかし 国道2号



昭和10年ごろ 業平橋付近



現在

芦屋
今むかし 国道43号



昭和42年 正面は打出町にあったガスタンク



現在

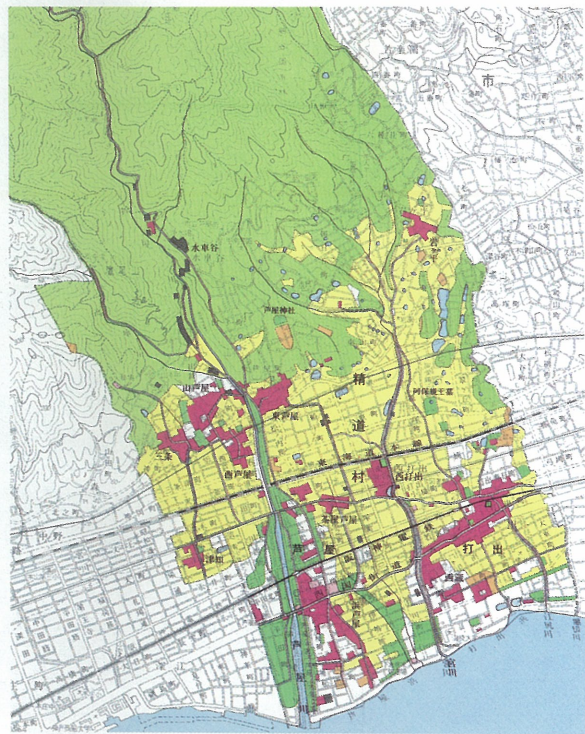
まちのうつりかわり



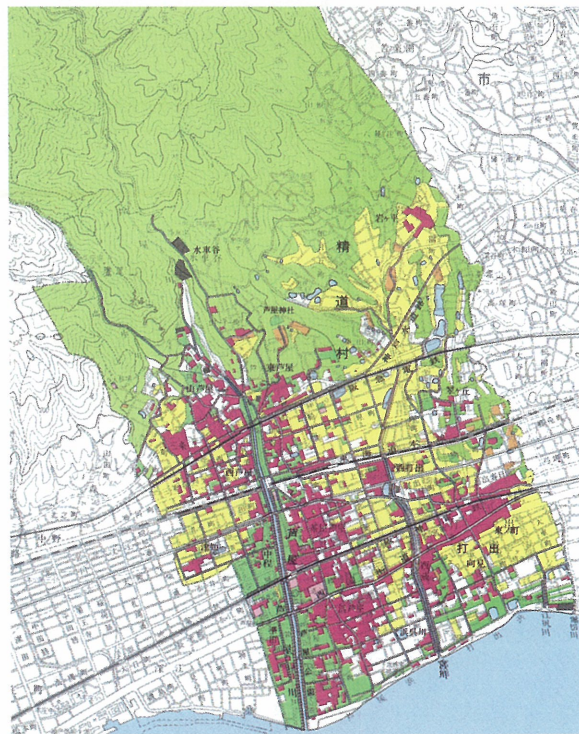
大正末期



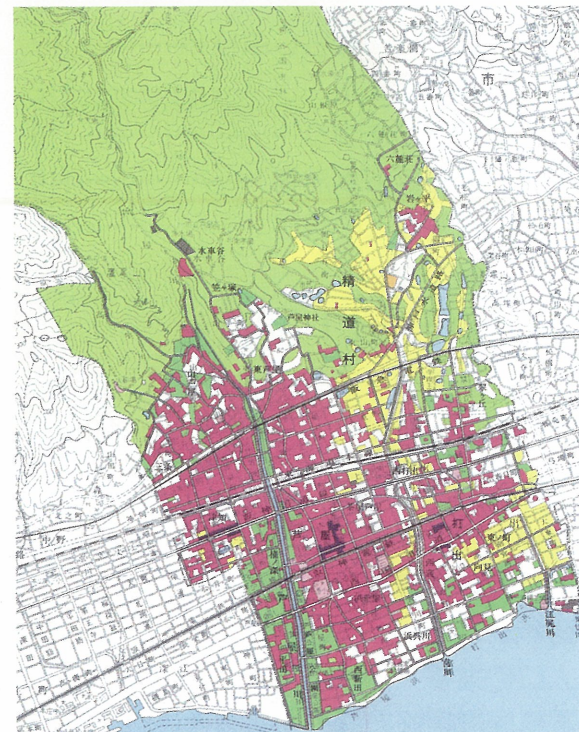
昭和43年



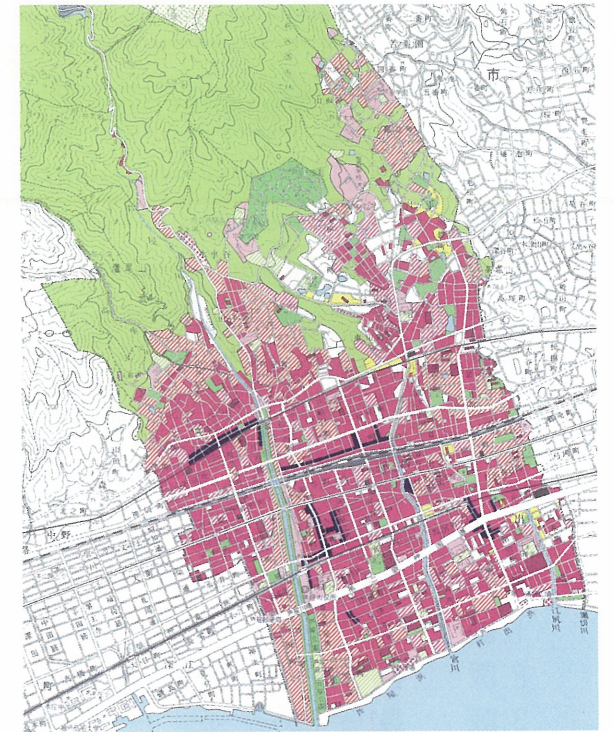
大正3年



大正12年



昭和7年



昭和44年



目次

市長あいさつ

- 絵 芦屋市全景
- 芦屋 今むかし
- まちのうつりかわり

遡・ASHIYA

I 芦屋の遺跡	18
II 中世・近世の芦屋	20
III 精道村のころの芦屋	22
1. 村の施設	23
2. 交通機関の発達	28
3. 住宅地の形成	38
4. 精道村風景	40
5. 学校の様子	54
6. 阪神大水害	58

誕生・ASHIYA

I 芦屋市誕生	62
1. 市制施行祝賀式	63
II 戦時下の暮らし	66
1. 戦時下の人びと	67
2. 戦時下の教育	70
3. 阪神大空襲	74
4. 終戦	75
III 戦後の復興	76
1. 甲南団地の開発	77
2. 市街地道路の整備	78
3. 奥池地区の開発	80
4. 芦屋浜住宅団地	81
IV 戦後の交通	82
1. 国鉄	83
2. 阪神	84
3. 阪急	85
4. 国道2号	86
5. 国道43号・阪神高速道路	87

V 文化都市への歩み	88
1. 公民館・市民会館・図書館	89
2. 住みよいまち	90
3. 親しまれる市政	92
4. 警察・消防ほか	94
5. 国際交流	96
VI 学 校	98
1. 市立芦屋高校	99
2. 市内の小学校	100
3. 市内の中学校ほか	102
4. その他の学校	103
5. 保健体育と学校給食	104
VII 人と暮らし	106
1. 人びとの暮らしぶり	107
2. 芦屋とスポーツ	112
3. 芦屋のまつり	116
4. 芦屋浜海水浴場	118
5. 台風などの被害	120

翔・ASHIYA

I 芦屋スケッチ	124
II 明日の芦屋	126

資料……………130

歴代市長

歴代市議会議長

略年表

人口の推移

写真集編集協力者・主要参考資料



市花：コバノミツバツツジ



市木：クロマツ